

独標～大ドッケ

記：M・T

期 日：4月1日（日） 晴天

コース：細久保登山口6：40～フクジュソウ群生地10：45～独標～大ドッケ12：07～
61号鉄塔13：23～細久保13：51

参加者：3人

報 告：



多くの登山者は浦山大日堂そばの駐車スペースを利用するらしいが、私たちは毛附トンネルを抜けた駐車スペースを利用した。身支度を整え出発する。浦山大日堂方面に進み側に河童のオブジェがある河俣橋を渡る。



山火防止と61号に至るの黄色杭が目印。右の道に行く。



兎に角、沢沿いに進む。ザイル場も数か所あり、鹿柵も何回か抜ける。





こんな所もあるが、涸沢に降りるまで我慢して沢沿いに行く。



延々と沢をつめるとハシリドコロが現れ出す。



遠くの緑の部分、やっと現れたフクジュソウ。

谷を埋め尽くすフクジュソウ



谷間の秘密の花園





群生地からは1315mの独標に登り返す。それらしきピークに独標の看板見つからず。



大ドッケ。ドッケとは尖った峰を意味する言葉だそうだ。



61号鉄塔脇を通過し出発地点に戻った。

晴天に恵まれ花は笑って迎えてくれた。
心に残る谷間だった。

